

# 小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】(H30.6改訂)

## ～富士山金太郎未来タウン構想の実現に向けて～



### 人口ビジョン

#### 小山町の人口推移

- **人口減少・少子高齢化の進行**
  - ・ 総人口は1960年の約29,000人をピークに減少
  - ・ 年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)は減少傾向にある一方、老年人口(65歳～)は増加傾向
  - ・ 2015年10月1日現在人口:19,371人
- **自然動態**
  - ・ 2000年頃より出生数が死亡数を下回り、自然増減はマイナスに推移
  - ・ 2008～2012年の合計特殊出生率:1.50 (2003～2007年:1.39)
- **社会動態**
  - ・ 転出数が転入数を上回る転出超過が継続
  - ・ 特に20～40代前半の若年層で転出超過大

#### 中長期的展望(2015年～2060年)

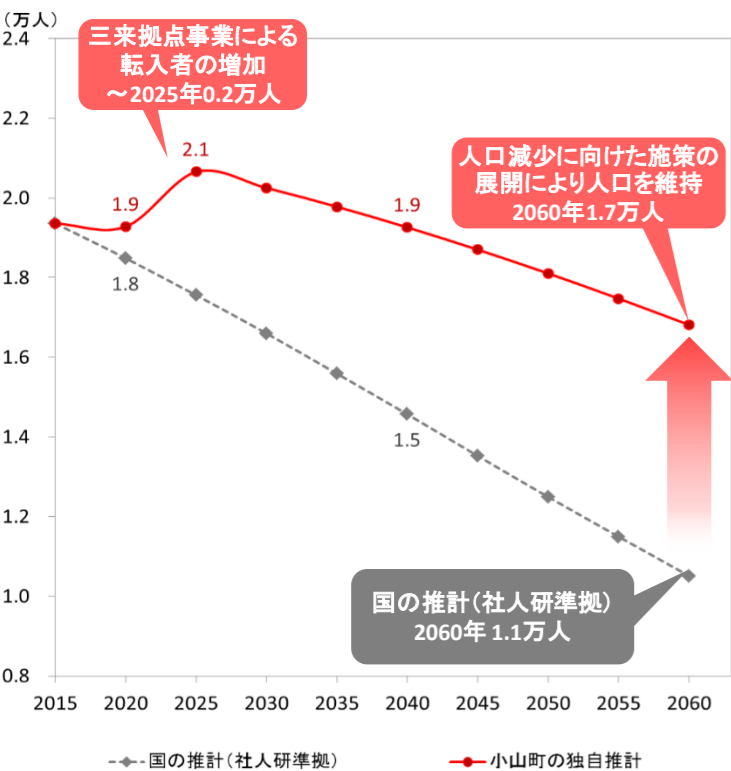
##### ● 目指すべき将来の展望

2060年に約10,500人まで減少

※ 国の推計:国立社会保障・人口問題研究所(社人研)準拠

- **合計特殊出生率の向上**  
2020年に1.72※ 2030年に2.07を達成  
※ 町民の希望出生率
- **三来拠点事業による転入者増加**  
約2,100人増加(2025年までに)
- **社会減の抑制**  
2014年:△218人⇒2020年:0人

2060年に人口17,000人程度(目標)



### 総合戦略(平成27年度～31年度の5年間)

#### 取組方針

#### 1. 三来拠点事業を中心とした未来を切り拓く取組の推進

#### 2. 官民一体となった持続的な取組の推進

(現状値 → 平成31年度(平成27年度)の目標値)

基本目標及び数値目標	主な施策	重要業績評価指標(KPI)
<b>基本目標1</b> <b>産業拠点の整備を中心に多様な雇用機会を創出する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新規企業立地件数(累計)</b> [26年度] 0件 → [31年度] 10件</li> <li>● <b>雇用創出数(累計)</b> [26年度] 0人 → [31年度] 500人</li> <li>● <b>観光交流客数</b> [26年度] 415万人 → [31年度] 500万人</li> </ul>	<b>(1) 三来拠点事業等の推進による産業集積の形成</b> <b>① 三来拠点における産業集積の形成</b> (小山PA周辺地区、湯船原地区、足柄SA周辺地区、駿河小山駅周辺地区) <b>② 三来拠点事業以外の企業誘致の推進</b> <b>(2) 観光産業の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小山町HPの観光サイト充実及び閲覧機能の強化</li> <li>・ 周辺自治体との広域連携の推進、メディアや旅行代理店を対象としたモニターツアーの実施</li> <li>・ 多彩で魅力あるサイクルイベントによる誘客促進</li> <li>・ 国の登録有形文化財の活用やフィルムコミッション事業、映像文化創出による誘客促進</li> <li>・ 観光宿泊施設の誘致による滞在人口の増加</li> </ul> <b>(3) 農林業の成長産業化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 餅米「峰の雪」の6次産業化、ブランド化</li> <li>・ トマト、水掛け菜等地域特産品の6次産業化</li> <li>・ 木材の安定供給体制の確立、「富士山一金時材」の需要拡大</li> </ul> <b>(4) 創業支援等による雇用創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスセミナーの開催、空き店舗の提供等による創業支援</li> <li>・ 地域資源をビジネスに結びつける仕組みの構築による新産業の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三来拠点事業による企業立地件数(累計) (0件 → 8件)</li> <li>● 三来拠点事業による雇用創出数(累計) (0人 → 400人)</li> <li>● 三来拠点事業以外の企業立地件数(累計) (0件 → 2件)</li> <li>● 三来拠点事業以外の雇用創出数(累計) (0人 → 100人)</li> <li>● 観光サイトアクセス数 (8,273件 → 50,000件)</li> <li>● モニターツアーの参加者(社)数 (0者 → 5者)</li> <li>● サイクルイベント参加者数 (4,165人 → 5,000人)</li> <li>● 国際観光ホテルの施設数(累計) (1施設 → 4施設)</li> <li>● 餅米「峰の雪」を使った餅の売上額 (1,700万円 → 2,500万円)</li> <li>● 6次産業化された商品の件数(累計) (3件 → 9件)</li> <li>● 静東原木流通センターの原木取扱量 (8,574m<sup>3</sup> → 37,600m<sup>3</sup>)</li> <li>● 新規創業数(累計) (0件 → 5件)</li> </ul>
<b>基本目標2</b> <b>居住環境の整備により定住・移住を促す</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>社会増減(転入者数-転出者数)</b> [26年度] △218人 → [31年度] 0人</li> </ul>	<b>(1) 定住・移住促進</b> <b>① 小山町への居住を促すための情報提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小山町の定住・移住総合案内サイトの開設、良質な住宅・土地の不動産市場への流通促進</li> </ul> <b>② 小山町で暮らす気運の醸成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住体験ツアー、就活生に対する情報発信・セミナー・インターンシップの実施、高校生に対するインターンシップの実施、定住促進事業助成金、優良な住宅団地の分譲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定住・移住総合案内サイトのアクセス数 (0件 → 50,000件)</li> <li>● 不動産バンクの登録件数(累計) (20件 → 500件)</li> <li>● 移住体験ツアー対応件数 (0件 → 25件)</li> <li>● UIターン支援プログラムの参加者数 (0人 → 20人)※H27年度</li> <li>● 高校生のインターンシップ参加者数 (0人 → 120人以上)</li> <li>● 定住促進事業助成金利用件数 (59件 → 100件)</li> <li>● 町による宅地分譲数 (8区画 → 103区画)※H26年度からの累計</li> <li>● 結婚に前向きになったとする割合 (0% → 85%)</li> </ul>
<b>基本目標3</b> <b>結婚・出産・子育て環境の整備により若者世代の希望に応える</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>合計特殊出生率</b> [20～24年度] 1.50 → [31年度] 1.72</li> <li>● <b>子育て支援に関する満足度</b> [26年度] 42% → [31年度] 50%</li> </ul>	<b>(1) 出会いの場の創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 婚活支援事業「おやま出逢い大社」の実施(イベント開催・情報発信)、相談員による支援等</li> </ul> <b>(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援</b> <b>① 相談体制の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育支援員の養成、家庭教育学級等による子育て講座・相談</li> </ul> <b>② 子どもを育む場の提供</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援センター「ぺんぎんランド」の充実、放課後子ども教室の増設、民間事業者と連携した子育てサービスの構築</li> </ul> <b>③ 医療費無料化の継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学3年生までの医療費無料化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭教育支援員による子育て講座及び教育相談の参加者数 (0人 → 700人)</li> <li>● ペんぎんランド等参加者数 (2,945人 → 10,000人)</li> <li>● 放課後子ども教室箇所数 (1箇所 → 5箇所)</li> <li>● 子育て世帯向けイベント等参加者数 (0人 → 90人)</li> <li>● 農業・林業体験等参加者数 (100人 → 250人)</li> <li>● 通学合宿等参加者数 (123人 → 250人)</li> <li>● 全中学生数に占めるボランティア登録数の割合 (32% → 60%)</li> </ul>
<b>基本目標4</b> <b>様々な世代の町民が元気に安心して暮らせる環境を整備する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>気軽にスポーツを楽しめる環境が整備されていると思う人の割合</b> [26年度] 37% → [31年度] 50%</li> <li>● <b>高齢者が自立していきいきと暮らしていると思う人の割合</b> [26年度] 36% → [31年度] 50%</li> <li>● <b>地域に安心できる防災の仕組みがあると思う人の割合</b> [26年度] 51% → [31年度] 60%</li> </ul>	<b>(1) スポーツを通じた健康づくりの促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合体育館等の体育施設を活用したスポーツへの興味・関心を喚起する機会の提供、町民体育大会等の多彩なスポーツイベントの開催</li> </ul> <b>(2) 高齢者が自立していきいきと暮らせる環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の体力測定等のお達者度向上プロジェクト事業の推進、自主運動教室の実施等による高齢者の健康づくり</li> <li>・ 福祉理美容師の養成、訪問理美容の実施、理美容室の地域コミュニティ拠点化、高齢者を対象としたオシャレ講座の開催</li> </ul> <b>(3) 安全・安心なまちづくりの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災士養成講座の開催</li> <li>・ 地域防災訓練(富士山噴火訓練を含む)の実施、気象情報や避難情報等のメール配信システムの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育施設利用者数 (48,796人 → 80,000人)</li> <li>● お達者度 男性 (16.56年 → 17.12年) 現状値:H24年度</li> <li>● 女性 (19.59年 → 20.64年) 同上</li> <li>● 福祉理美容師養成人数 (0人 → 20人) ※H27年度</li> <li>● 訪問理美容の実施件数 (0件 → 1,500件)</li> <li>● オシャレ講座参加者数 (0人 → 250人)</li> <li>● 1名以上の防災士を配置する行政区数 (18区 → 40区)</li> <li>● 地域防災訓練参加者数 (6,900人 → 7,300人)</li> </ul>